

# 令和4年度 福祉保健部長「政策宣言」中間報告

福祉保健部長 小見 光子

## ○ 令和4年度重要事業

事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進
目標	新型コロナワクチン接種の推進や感染防止対策の徹底など、引き続き関係機関と連携し、感染症のまん延防止に努めます。
進捗状況	<p>ワクチン接種は、12歳以上の約75%が3回目の接種を終え、小児（5～11歳）の約25%が2回目の接種を終えており、現在12歳以上の4回目の接種及び小児の3回目の接種を行っています。</p> <p>また、市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、市長メッセージの発出や市のホームページ、LINE、広報紙等で感染防止対策の周知を図りました。</p>
今後の対応	<p>12歳以上のオミクロン株対応ワクチンの接種及び小児の3回目の接種の推進や乳幼児（6か月～4歳）の接種体制の整備に努めてまいります。</p> <p>また、市広報媒体等により感染防止対策の周知を行ってまいります。</p>

事業名	子育て支援の推進
目標	安心して子どもを産み育てることができるよう、産後家事サポート事業や多胎ピアサポート事業を拡充するとともに、令和4年10月から子ども医療費の助成対象年齢を入院・通院ともにこれまでの15歳から18歳までに拡大するなど、子育て環境の更なる充実を図ります。
進捗状況	<p>産後家事サポート事業については、今年度より利用できる対象者を生後6か月未満（多胎の場合は生後1年未満）までに拡充し、8月末まで38件の利用がありました。また、多胎ピアサポート事業を9月末まで5回開催し、多胎児を持つ妊産婦の悩みを解消できるよう、仲間づくりとなる場を提供しています。</p> <p>子ども医療費助成については、関係機関との連携を図り、10月診療分から入院・通院ともに18歳（高校生世代）までに拡充しました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、安心して子どもを産み育てることができるよう妊産婦支援事業の充実に努めてまいります。</p> <p>また、子ども医療費助成については、引き続き子どもの疾病の早期治療を促進するとともに、今後も子育て世帯の負担軽減に努めてまいります。</p>

事業名	健康寿命の延伸に向けた健康づくりと介護予防の推進
目標	<p>市民一人ひとりが自ら健康な生活習慣に取り組めるよう、8つの行動目標「Let'sトライ！IMIZUSHI 健康<sup>エイト</sup>8」の普及を図るとともに、生活習慣病の発症や重症化の予防に向けた効果的かつ継続的な保健事業を推進します。</p> <p>また、高齢者が楽しみながら介護予防やフレイル予防ができるよう、運動習慣の獲得や健康増進につながる活動の普及に努めます。</p>
進捗状況	<p>8つの行動目標「Let'sトライ！IMIZUSHI 健康8」の普及啓発を図るため、広報、ホームページ、LINE 配信による情報発信、「健康8劇場」の放映、図書館の企画展示を実施しています。</p> <p>また、保健事業では、生活習慣病等の未治療者や治療中断者に受診勧奨や保健指導を実施し、重症化予防に取り組むとともに、100歳体操やノルディックウォーク体験会を実施するほか、新たに「公園で元気アップ in 足洗」事業を開始する等、介護予防に取り組んでいます。</p>
今後の対応	<p>市民がより健康的な生活習慣を生活に取り入れて、自ら取り組めるよう健康づくりを支援していくとともに、特定健診及びがん検診の受診率の向上を図ります。</p> <p>生活習慣病の予防に向けた保健事業について、中でも糖尿病予防として働き盛りの世代でも参加しやすいよう「糖尿病予防オンライン健康相談」を実施します。</p> <p>また、関係機関との連携を図り、保健事業と介護予防事業を一体的に実施してまいります。</p>